

平成28年3月4日  
JR北海道釧路支社

## 「SL冬の湿原号」「流水ノロッコ号」ご利用状況について

JR北海道では、平成27年度の「SL冬の湿原号」「流水ノロッコ号」の運行を終えました。今年度は、天候にも恵まれ、計画通りに運転出来たことやアジア圏を中心とした訪日個人旅行の増加より、昨年より多くのお客様にご利用いただきました。今年度のご利用状況は以下の通りです。

### 1 SL冬の湿原号（釧路～標茶間）

平成27年度のSL冬の湿原号は、安定した天候とアジア圏を中心とした訪日個人旅行が増加したことにより、1万人を超えるお客様にご乗車いただきました。また、沿線自治体と連携して、様々な取り組みを実施しました。

#### (1) 釧路～標茶間 1日1往復 上下計

	乗車計(人)	平均乗車人員(人) (1日あたり)	計画運転日数(日)	運転日数(日)	計画運転日
本年度	10,660	507	21	21	1/30,31,2/4-14,18-21,25-28
前年度	10,300	368	41	28	1/17,18,24,25,1/31-3/8
増減	360	139	-20	-7	
対前年比(%)	103.5%	137.8%			

#### (2) 地域と連携した取り組み



SL冬の湿原号出発式の様子

### 2 流水ノロッコ号（知床斜里～網走間）

平成27年度の流水は統計開始以来、最も遅い2月22日に接岸初日を迎えました。ご利用については国内団体旅行に加え、訪日個人旅行のお客様に多くご乗車いただきました。

#### 知床斜里～網走間 1日2往復 上下計

	乗車計(人)	平均乗車人員(人) (1日あたり)	計画運転日数(日)	運転日数(日)	計画運転日
本年度	18,080	602	30	30	1/30,31,2/1-28
前年度	11,950	628	37	19	1/31~3/8
増減	6,130	-26	-7	11	
対前年比(%)	151.3%	95.9%			